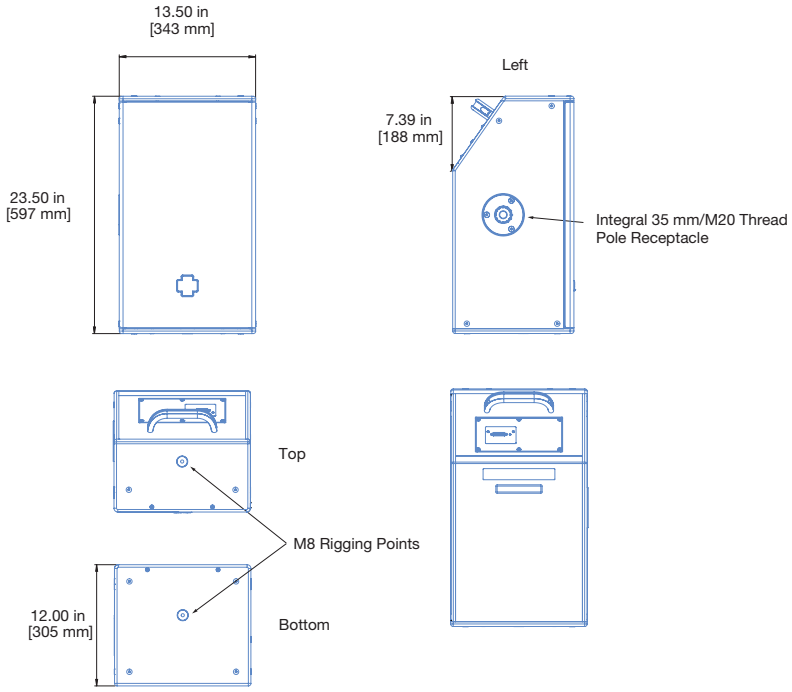
USW-112P コンパクトナローサブウーファー



USW-112Pコンパクトナローサブウーファーは、優れたパワー対サイズ比により、非常に狭いスペースに大きな低音を提供します。コンパクトな長方形の筐体と傾斜したコネクタパネルにより、キャビネットを壁面にぴったり設置できるため、コネクタを含めて必要な設置の奥行きをを12インチに減らすことができます。USW-112Pは、魅力的で目立たない美的外観とともに、高性能と汎用性を必要とする設置に最適です。Meyer SoundのULTRA-X20の理想的なコンパニオンとなるように設計されており、UP-4slimやUPMファミリーなどの他のMeyerSoundスピーカーの低い周波数も補完します。

USW-112Pの動作周波数範囲は35～140 Hzで、リニアピークSPLは123 dBで、4 mの半空間で測定され、M-noiseを使用して1mを基準としています。バスレフキャビネットは、Meyer Sound USW-210Pサブウーファー設計に基づくローポートを採用しており、高効率と低ポート歪みを実現しています。

キャビネットには、位相および周波数レスポンス用の補正フィルターを含む信号処理を備えたオープンループのクラスDパワーアンプ、およびドライバー保護回路が収容されています。IntelligentAC™電源は、USW-112Pの自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフト電流ターンオン、およびサージ抑制を提供します。

オプションのRMS™リモートモニタリングシステムモジュールは、RMServer™インターフェイスを介してCompass®制御ソフトウェアを実行しているMac®またはWindows®ベースのコンピューターからのスピーカーパラメーターに関する包括的なリアルタイム情報を提供します。オプションのXLR5ピンコネクタにより、コンポジットケーブルでバランスオーディオ信号とRMS信号の両方を伝送できます。

Meyer Soundは、耐久性のあるわずかに質感のある黒仕上げでコーティングされたプレミアムバーチ合板からUSW-112Pキャビネットを構築し、ドライバーを保護するために粉体塗装された丸い穴あきスチールグリルを備えています。特定の要件に対応するオプションにはウェザープロテクションとカスタムカラー仕上げがあります。

用途の広い形状を備えたUSW-112Pは、設置要件に対応するために、水平または垂直のいずれかで地面に置くことができます。USW-112Pには、壁、天井、またはトラスの取り付けを可能にするオプションのUブラケットを使用するために、上部と下部にM8取り付けネジが標準装備されています。また、安定性を高めるために、M20スレッドを備えた一体型35mmポールマウントレセプタクルを備えています。

利点と特徴

- 高い電力対サイズ比
- 縦置きにも横置きにも対応できる汎用性の高いデザイン
- コネクタを含め、奥行きわずか12インチの狭いスペースに フィットする、外観とフォームファクタ
- 独自の高可動域ドライバーとローポートによるクリーンで低歪み出力

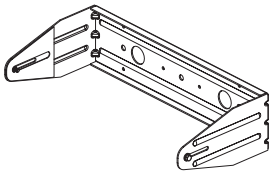
アプリケーション

- 多目的オーディオ/ビジュアル
- 法人向けレンタル
- 礼拝所
- 会議室
- ハイエンドのプライベートインストール
- 小売スペース
- 劇場

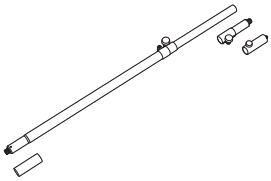
アクセサリー

MUB-USW-112 U-Bracket: MUB-USW-112 U-ブラケットを使用すると、単一のUSW-112 Pラウドスピーカーを壁（垂直または水平方向）、天井、または床に取り付けることができます。このキットには、2つのM 8ボルト/ワッシャと2つのM 8ノブ/ワッシャが含まれています。

MPK-POLE-35MM/M20 Adjustable Pole Mount: 補助リフトを使用して長さを調整できる927~1524 mm（36.5~60インチ）のポール。下側シャフトは35 mmカップにフィットするか、取り外し可能なM 20ネジ式ラグを使用して安定性を高めています。追加の35 mm~38 mm（1.5インチ）アダプタが付属します。上部シャフトには、M 8リグナット付きスピーカーを取り付けるためのPAS-M 8アダプタースリーブと、35 mmおよびM 20の内部ポールマウント付きスピーカーを35 mmスピーカースタンドに取り付けるためのPAS-M 20アダプタースリーブが付いています。



MUB-USW-112P U-Bracket



MPK-POLE 35MM M20 Pole Kit

仕様

音響特性[1]	
再生周波数帯域[2]	35 Hz - 140 Hz
周波数レスポンス[3]	36 Hz - 125 Hz ± 4 dB
位相レスポンス	45 Hz - 120 Hz ±30°
リニアピークSPL[4]	**123 dB with > 10.5 dB crest factor (M-noise)**, 123 dB (Pink Noise), 125 dB (B-noise)
指向角度	
低域	1×12-インチコーンドライバー、3 Ω 公称インピーダンス
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大コモンモード電圧	±15 V DC、過渡電圧保護のためにアース接続
コネクター	XLR3ピンメス入力とオスループ出力。バランスオーディオ信号とRMS信号の両方に対応するオプションのXLR5ピンコネクタ。耐候性ユニットのみのXLRTOPコネクタ。
入力インピーダンス	10 kΩ :オーディオバランス入力 ピン 2・3 間
配線[5]	ピン1:シールドと、1kΩ、1000pF、15V で構成されたネットワークを介したシャーシ/アースが、オーディオ周波数において仮想グランドリフトを提供 ピン2 : オーディオ信号(+) ピン3 : オーディオ信号(-) ピン4:RMS(極性感度) ピン5:RMS(極性感度) ケース: アースグランド・シャーシ
定格入力感度	0 dBV (1.0 V rms) 連続　通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント
入力レベル	スピーカの動作帯域幅にわたって最大ピークSPLを生成するには、+20 dBV (10 Vrms) を600Ωで生成できるオーディオソースが必要です。
アンプ	
タイプ	オープンループ、クラスD
トータル出力[6]	1200 W peak
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC電源	
コネクター	ループ出力のpowerCON 20入力;powerCON TRUE 1 TOP (雨天保護ユニットのみループ出力)
自動電圧選択	90-265 V AC, 50-60 Hz
安全電源範囲	100-240 V AC, 50-60 Hz
最低動作電圧	90V オン、オフ無し　内部ヒューズによる保護 (AC 265 V 超)
消費電流	
アイドル電流	0.23 A rms (115 V AC); 0.18 A rms (230 V AC); 0.25 A rms (100 V AC)
最大連続消費電流(>10 秒)	1.2 A rms (115 V AC); 0.7 A rms (230 V AC); 1.4 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 秒)	3.6 A rms (115 V AC); 1.8 A rms (230 V AC); 4.1 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	8.9 A peak (115 V AC); 4.5 A peak (230 V AC); 10.3 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	< 20 A以下(ピーク)
RMSネットワーク (オプション)	
	アンプのすべての動作パラメータをシステムオペレータのホストコンピュータに報告する2線ツイストペアネットワーク

仕様

外観	
サイズ	幅: 343 mm x 高さ: 597 mm x 奥行き: 305 mm
質量	20 kg
エンクロージャー	カンバ材積層合板（質感のあるブラック仕上げ）
保護グリル	粉体塗装、丸穴スチール
リギング	統合された2つのM 8スレッドポイント;35 mmポールマウントM 20ねじ付き:壁、天井、またはトラス取り付け用のオプションのUブラケット

注釈

1. カバレッジとSPLのラウドスピーカーシステム予測は、MeyerSoundのMAPPシステム設計ツールで利用できます。
2. 推奨される最大動作周波数範囲。応答は、負荷条件と室内音響に依存します。
3. 4mで1/3オクターブの周波数分解能で半空間で測定します。
4. **Linear Peak SPL は**1mを基準にした4mの半空間で測定されます。リミッターの開始時、2時間の持続時間、および50° Cの周囲温度でMノイズを使用して測定されたスピーカーSPLは、2dB未満です。

   M-noise スピーカーの音楽パフォーマンスをより適切に測定するためにMeyer Soundによって開発された全帯域幅（10 Hz〜22.5 kHz）のテスト信号です。

   オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベル、周波数とともに増加する波高比、および18dBの全帯域幅のピーク対RMS比を備えています。波高比に関して（>）記号がある場合は、EQと境界負荷によっては波高比が高くなる可能性があることを示しています。

   Pink noise ピーク対RMS比が12.5dBの全帯域幅テスト信号です。

   B-noise 最も一般的な入力スペクトルを再現するときに測定値がシステムの動作を反映していることを確認し、ピンクノイズにまだ余裕があることを確認するために使用されるマイヤーサウンドテスト信号です。

5. ピン4および5（RMS）は、バランスオーディオ信号とRMS信号の両方に対応するXLR 5ピンコネクタにのみ付属しています。
6. アンプが公称負荷インピーダンスに生成する最大クリップされていないピーク電圧に基づくピーク電力です。
7. AC電源ケーブルは、バースト電流rmsの条件下で、ケーブルの伝送損失がラウドスピーカーの電圧を規定の動作範囲以下に低下させないように、十分な大きさでなければなりません。

仕様構造

スピーカーは、セルフパワードのサブベースシステムです。
トランスデューサーは、1つの12インチコーンドライバーで構成されます。ラウドスピーカーシステムには、内部処理電子機器とオープンループのクラスDアンプです。処理機能には、ドライバ保護、周波数および位相補正が含まれます。ピーク出力電力は、合計1200 W、公称インピーダンスは3Ωです。歪み（THD、IM、TIM）は0.02%を超えてはなりません。

一般的なユニットの性能仕様は次のとおりです。動作周波数範囲は35Hz〜140Hzです。位相レスポンスは45Hz〜120Hz±30° です。リニアピークSPLは、波高比が10.5dBを超える123dBであり、Mノイズ、1mを基準とした4mの半空間で測定されます。
アナログオーディオ入力は、10kΩのインピーダンスで電子的なバランス型で、公称0 dBV（1 V rms）の信号を受け入れます。コネタは、オスループ付きのXLR3ピンメス、またはオプションで、バランスオーディオ信号とRMS信号の両方に対応するオスループコネクタ付きのXLR5ピンメスです。ウェザープロテクトACユニットでは、コネクタは3ピンXLRコネクタです。デジタルバージョンの場合、オーディオ形式はMilan認定であり、コネクタはetherCONです。

内部電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフト電流ターンオン、サージ抑制を行う必要があります。電力要件は、50 Hzまたは60 Hzでの公称100,115 Vまたは230 V ACライン電流とする。ULおよびCE動作電圧範囲は、100~240 V AC、バースト時の最大ピーク電流は、3.6 A rms(115 V AC）、1.8 A rms（230 V AC）、4.1 A rms（100 V AC）です。ソフトターンオン中の電流突入は、115 V ACで20 Aを超えないものとします。
AC電源コネクタはpowerCONです。デジタルおよびウェザープロテクションアナログユニットの場合、AC電源コネクタはループ出力付きのpowerCONTRUEです。
MeyerSoundのオプションのRMSリモートモニタリングシステムをアナログバージョンにインストールするための機能を提供します。Compass®制御ソフトウェアによるリモート監視は、デジタルバージョンに統合されます。
すべてのスピーカーコンポーネントは、わずかにテクスチャーが施された黒い仕上げの高級なマルチプライのバーチ材で構成された、音響的に通気された台形エンクロージャに取り付けられます。前部保護グリルは、パウダーコーティングの丸穴スチールです。
寸法は、幅:343 mm ×高さ:597 mm ×奥行き:305 mm です。重量は20 kg です。
モデルはMeyer Sound USW-112 Pです。

Meyer Sound Laboratories, Inc.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166
meyersound.com/contact
meyersound.com

Copyright © 2020. All Rights Reserved.

3K59 OR 3JKB COMMERCIAL AUDIO SYSTEM
c UL us LISTED